日進月歩

中筋中学校だより

平成29年度ＮＯ．42　平成30年３月13日（火）

平成２９年度 卒業証書授与式

３月１１日（日）、本校体育館において、平成２９年度中筋中学校第７０回卒業証書授与式が行われ、４名の卒業生が母校を巣立っていきました。

卒業式での在校生代表の送辞と卒業生代表の答辞をご紹介します。

送辞

桜のつぼみもふくらみ始め、春の訪れを感じる季節となりました。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんと過ごした中学校生活は、かけがえのないとても楽しい日々でした。卒業式を迎えた今、いろいろな事が思い出されます。

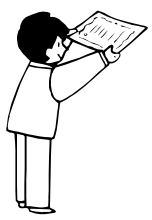
その中でも一番の思い出は、三年生と一緒に行った修学旅行です。京都での班別自主研修では、バス停などが分からない時も三年生がリードしてたどり着けましたね。

ホテルでは、二・三年生全員で楽しく遊ぶことができました。場が静かだったら、楽しい話を聞かせてくれたり、夕食でたこ焼きを自分たちで作るときには、ひっくり返し方を優しく教えてくれました。

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで乗ったジェットコースターも三年生と一緒に乗ったので、少し怖さは消え、とても楽しい思い出になりました。

また、秋の運動会では、団長を中心に組をしっかりまとめていました。

応援や行進の練習では、小学生に分かるよう、すぐ隣で一緒になって丁寧にやり方を教えていましたね。見ていてさすがだと思いました。



応援の時は、一番大きな声で言い、声の大きさなど優しくアドバイスしてくれ、応援のセリフが思いつかなかったら、一生懸命考えてもくれました。

ダンスの振り付けが分からないときも優しく教えてくれて嬉しかったです。いつも先頭にいてリードしている三年生の姿を見て、私たちも来年はしっかりやらなければと思いました。

合同で行った授業では、三年生は意見も積極的に言え、進んで行動できていたので、私たちの手本となってくれました。体育の時間では、３年生が元気で明るく楽しかったので、私たちもいつも元気をもらえました。

他にも音楽祭では、三年生の声に引きつられて大きな声が出せました。

中央区陸上大会で、自分の出番が終わると、補助員として活躍していた姿は、さすが三年生だと思い、見習っていきたいと強く思ったことでした。

学校生活を送る中で、三年生と一番関わりがあったのが部活動です。

卓球部では、入部して間もない頃は、できないことが多かったけど、丁寧に教えてくれたおかげで、上手になりました。試合で入らないときでも「こうやったら入るで」と教えてくれましたね。

陸上部では、練習の時、速く走れる方法を優しく教えてくれた三年生。大会では、話しかけてくれたので、緊張がほぐれ、落ち着いて走ることができました。このようにいつも話し相手になって楽しませてくれたので、部活動が楽しみになりました。

生徒会執行部が企画したサマーパーティー・フォールパーティーのイベントは、とても楽しく、学年を越えた交流でさらに仲を深めることができました。

フォールパーティーではマジック、双子ダンス、朗読劇、紙芝居と、各自の知らない一面が見られたりして、とても面白かったです。

自分たちが育てて収穫した芋の調理は保護者の方たちと協力してできたし、楽しく作ることができたのは先輩たちのおかげです。

三年生の素晴らしいところは、そんな企画力や行動力があって四人それぞれがユニークな面がある所です。そして元気で明るく仲良しなところだと思います。

陸上部のキャプテンとして陸上部をまとめてくれた秀真くん。

自分の意見をすぐ言え、面白いことを言って笑わせてくれた海くん。

いつも積極的に動いていて、休み時間に一緒に話をしてくれた榛菜ちゃん。

何事にも一生懸命で、生徒会長として学校を良くしようと、色々な場面で活躍した知佳ちゃん。

そんな三年生とも今日でお別れです。さみしい気持ちでいっぱいですが、三年生か学んだたくさんのことを後輩たちに受け継いでいきたいと思います。

これからの皆さんは、それぞれの夢に向かって新たな道を歩んでいきます。新しい生活でも、勉強やスポーツに一生懸命取り組み、頑張ってください。

今後の卒業生の皆さんのご活躍と輝かしい未来をお祈りして、在校生一同からの送辞とさせていただきます。

平成三十年三月十一日
在校生代表　野中綾菜

【学校だより「日進月歩」返信】ＮＯ．42（次号以降の「日進月歩」に掲載させていただくことがあります。ご了承下さい。）

答辞

窓から吹き込んでくる風が春の訪れを感じさせる季節となりました。柔らかな日差しに包まれた今日、二〇一八年三月十一日、私達四人はこの学舎を卒業します。

先程は、ご来賓の皆様や在校生の皆さんから温かいお言葉をいただき、本当にありがとうございました。

三年前、ぶかぶかの制服に身を包んだ私たちは、校舎二階のワークスペースで入学を祝ってもらいました。周りの先輩達の姿に緊張したことを今でも覚えています。そんな先輩達と関わることのできた部活は小学校との大きな違いでした。

部活では、それぞれが卓球部、陸上部に入部し、始めの頃は毎日ヘトヘトで帰っていました。先輩からは技術だけでなく礼儀も学びました。二年生になり後輩が入ってきてからは、手本となれるよう挨拶や返事を自分から進んでするなど努力しました。それぞれが三年間目標をもって取り組み、大会の賞状を受け取ることができた時は、うれしさでいっぱいでした。部活のおかげで忙しくも毎日充実していたと思います。先輩から教わったことを後輩にしっかり伝えることができたか心配ですが、それでも最後まで慕ってくれた後輩に感謝しています。

部活以外にも三年間で数々の経験をしましたが、私達四人の心に最も残っているものは、やはり今年度の運動会です。例年と違い応援合戦に加え行進も私達が教えるようになり、大人数をまとめる難しさを痛感しました。しかし、それぞれの団長を中心に練習を重ねるにつれて全員の気持ちが一つになっていきました。応援合戦は夏休みから練習を始め、白組はこれまでの古風なスタイルとは違い、替え歌で団を盛り上げ、紅組はダンスのヲタ芸で団結力を強めていましたね。例年以上の盛り上がりだったと思います。結果は赤組の勝ちとなりましたが、終わった後は赤白の団ともに笑顔であふれていました。それは練習から本番まで全力で取り組み、一致団結して戦った証拠だと思います。団をまとめることの難しさから始まった運動会でしたが、小中学生、さらに保護者や地域の方々を笑顔にすることができ、これまで頑張ってきてよかったと心の底から思いました。他にも生徒会で企画したサマーパーティーや暑い中ただただバケツを運んだプール掃除。みんなで助け合い、非日常の中でたくさんの思い出をつくることができた修学旅行などがみんなの心に強く残るものになったのは中筋中学校の絆があったからだと思います。

今日でこの学舎を卒業する私達から在校生の皆さんに伝えたいことがあります。それはこれからはあなたたちの時代をつくっていってほしいということです。一年生の頃は静かだった二年生も今では後輩に頼られる存在に成長しましたね。一年生は活発で面白い人が多いので学校を盛り上げていってくれると思います。今までの伝統を大切にしながらも私達のように一味違う運動会にしてみたり、専門部で新しい企画を考えたりしてもっと良い学校にしていって下さい。みんなの前でも堂々と発表できる力や責任感、そして仲間との団結力を身につければみんなの目指す中筋中学校が築けます。私達が学校を見に来る度に進化した中筋中学校になっていることを期待しています。この三年間多くの行事がありましたが、どれも自分たちの力で成功させることができたのも、熱心に指導して下さったり、陰で支えてくれた先生方のおかげです。

先生方、時に優しく時に厳しく指導して下さり、ありがとうございました。私達が悩んでいたり、勉強などがうまくいっていない時に温かい言葉で励ましてくれました。受験二ヶ月前からは放課後に入試道場を開いてくれ、遅くまで指導してくれました。そのおかげで最後まで諦めずに頑張ることができました。

そして、お父さん、お母さん、十五年間お世話になりました。私達の義務教育も今日で終わりです。普段は恥ずかしくて言えないけどいつも困らせたり心配かけたりしてごめんなさい。そして、自分も仕事で疲れているのに部活の試合や塾の送迎をしてくれるなど毎日の小さな気遣いにとても感謝しています。これからも迷惑をかけると思うけど、和達達の味方でいて下さい。

私達四人は保育園の頃から一緒に成長してきました。時にはケンかもしたけどみんなで笑い合った思い出を強く覚えています。みんなで過ごした日々を一生忘れることはないでしょう。私達の絆は最強です。困った時はまた助け合いましょう。

これから私達はそれぞれが目標に向かって新たな道を歩み始めます。この中筋中学校でのたくさんの思い出と、培った力とともに新たな世界へ道を切り開いていきます。

最後になりましたが、皆様のご多幸をお祈りして、答辞とさせて頂きます。

平成三十年三月十一日

卒業生代表　橋田知佳